



ひまわりライス通信

R元年、10月

No.118

皆さんこんにちは。先月はまだ残暑残る日もありましたが、9月19日には北海道の旭岳では初雪が観測され、一気に秋が深まったように思います。遠くの山々もいつの間にか、色付きはじめていますよ。
(*´▽`) この時期なると、稲刈りは終盤を迎え生産者さん達も一段落です。(*´ 3 `) <ﾌｰ
それじゃあ、今月も寒さに負けずいってみよう！ へ(・▽・)ノワフォーイ♪



お米の集荷が本格的に始まりました。サンプルを採るのに、作業員がトラックの荷台にあがります。



一つのコンテナごとに、「穀刺し」という器具を使ってサンプルを取ります。奥まで刺すので、結構重労働。



サンプルを採ったら、下見検査所で検査員が、水分・整粒・食味分析などを計測して格付けをします。



生産者さんが持ってきた出荷伝票と印刷された伝票の確認と、圃場番号の確認をしています。



生産者さんは下見検査所で指示された仮置き場に行き、コンテナを降ろします。速さに驚き！ Σ(∩ノ)



仮置き場の倉庫の中には、コンテナが品種・栽培・ランクごとに積み込まれていきます。まるで、テトリスみたい。(笑)



法人さんのお納屋訪問。これはもう、納屋を通り越して工場並みで驚きました。Σ(=ω=)



入ってすぐに乾燥機がありました。この中に東京ドーム約2個分の面積のお米が入るそうですよ。



奥には粳摺り機が4台がフル稼働。コンテナ1基1800kgを約15分で処理しています。1日で70tの粳摺りができるそうです。へ(・ω・)ノ



ここに仕切り板があります。振動した選別機にかけ、右に落ちたら玄米、左側に落ちたら粳混なので再度、粳摺りを繰り返します。



粳摺り後は、玄米を1.95mmの網目でふるいにかけていきます。奥が製品で手前が中米のふるいです。(´▽・)へー



このタンクの中には約4tの製品が入っています。いよいよ出荷の準備ができました。トラックに積んで、農協へGO～ (。ω。b)

今回も最後までお付き合いいただきありがとうございます。台風により被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げるとともに、一刻も早い復旧ができますようお祈りいたします。そして私達も今一度、災害対策について見直して参りましょう。それでは、来月号で。(*人*)

J A きたそらち北竜支所 営農課
直通 0164-34-2247 FAX 0164-34-2216
生産情報公表 J A S のHPアドレスは <http://www.hokuryu-mai.com/>
J A きたそらち北竜支所ブログ